

インターネットの口承文芸

現代の妖怪「くねくね」を事例に

野添恵美子

(佐々木高弘ゼミ)

1 はじめに

パソコンが、私達の生活に欠かせないものになった。情報検索だけでなく、個人がブログやホームページを作成し公開するというのも、当たり前的事になりつつある。ここ数年、このようなインターネット環境で、妖怪や怪談の情報が手軽に入手出来、また、新しく話を作る事も出来るようになった。

このような、インターネット環境の中で、形を少しずつ変えながら、人から人へと語られている話がある。今回はいくつかある話のなかから、「くねくね」と呼ばれる妖怪を事例に、インターネットで繰り返し広げられる口承文芸の実体を検証してみたいと思う。

2 インターネットの口承文芸とは？

口承文芸とは、本来、文字に変換せずに、人の言葉だけで語りついできた、伝説や物語を表している。人が語りついでいくものなので、語られるうちに、話が削られたり、表現が大げさになったりする。

ここでは、インターネットで語り継がれている物語を「インターネットの口承文芸」として、人から人へ文字化せずに語り継がれていく物語を「口承文芸」とする。インターネットの口承文芸と口承文芸は特徴が似ている。一つは、インターネットでは基本、文字で構成されているが、インターネットの口承文芸は、口承文芸のように話を文字化して保存するという役割を持っていない。現に、個人で自由に作ったブログやホームページから話が削除される場合が多々ある。それを防ぐ手立てはない。そこから、インターネットでの物語は口承文芸と同じく、人から人へと伝えていく

意味だけが残る。それは口承文芸と同じ事になる。そして、もう一つは、インターネットの口承文芸も口承文芸も人の手によって話が少しずつ変えられていくというものである。

この事からインターネットの口承文芸と口承文芸は発展した場所は違うが、同じ性質を持つものと考えたい。

3 「くねくね」について

インターネットの口承文芸の物語の中の一つに「くねくね」というものがある。これは「くねくね」というタイトルで語り継がれている。

これから、くねくねについて紹介したい。インターネットの特徴として、先程上げたようにブログやホームページが削除される事によって、どの話が一番初めだったか不明である。そして、何月何日にインターネットに掲載されたかも分からないものが多々ある。そして、コピーという機能から一言一句同じ物語も存在する。しかし、それは掲載しているホームページや発言者が違えば、別の物語と考えた。それを踏まえた上で話を進めていく。

まず、くねくねという物語について、一番有名だと思われる物語を紹介する。

これは小さい頃、秋田にある祖母の実家に帰省した時の事である。

年に一度のお盆にしか訪れる事のない祖母の家に着いた僕は、早速大はしゃぎで兄と外に遊びに行った。都会とは違い、空気が断然うまい。僕は、爽やかな風を浴びながら、兄と田んぼの周りを駆け回った。

そして、日が登りきり、真昼に差し掛かった頃、ピタリと風が止んだ。と思ったら、気

持ち悪いぐらいの生暖かい風が吹いてきた。僕は、『ただでさえ暑いのに、何でこんな暖かい風が吹いてくるんだよ！』と、さっきの爽快感を奪われた事で少し機嫌悪そうに言い放った。

すると、兄は、さっきから別な方向を見ている。その方向には案山子（かかし）がある。『あの案山子がどうかしたの？』と兄に聞くと、兄は『いや、その向こうだ』と言って、ますます目を凝らして見ている。僕も気になり、田んぼのずっと向こうをジューッと見た。すると、確かに見える。何だ...あれは。遠くからだからよく分からないが、人ぐらいの大きさの白い物体が、くねくねと動いている。

しかも周りには田んぼがあるだけ。近くに人がいるわけでもない。僕は一瞬奇妙に感じたが、ひとまずこう解釈した。

『あれ、新種の案山子（かかし）じゃない？ きっと！今まで動く案山子なんか無かったから、農家の人か誰かが考えたんだ！多分さっきから吹いている風で動いているんだよ！』

兄は、僕のズバリの確な解釈に納得した表情だったが、その表情は一瞬で消えた。風がピタリと止んだのだ。しかし例の白い物体は相変わらずくねくねと動いている。兄は『おい...まだ動いてるぞ...あれは一体何なんだ？』と驚いた口調で言い、気になってしょうがなかったのか、兄は家に帰り、双眼鏡を持って再び現場にきた。兄は少々ワクワクした様子で、『最初俺が見てみるから、お前は少し待ってるよー！』と言い、はりきって双眼鏡を覗いた。

すると、急に兄の顔に変化が生じた。みるみる真っ青になっていき、冷や汗をだくだくだ流して、ついには持っている双眼鏡を落とした。僕は、兄の変貌ぶりをおそれながらも、兄に聞いてみた。『何だったの？』

兄はゆっくり答えた。

『わからぬいほうがいイ.....』

すでに兄の声では無かった。兄はそのままヒタヒタと家に戻っていった。

僕は、すぐさま兄を真っ青にしたあの白い

物体を見てやろうと、落ちてる双眼鏡を取ろうとしたが、兄の言葉を聞いたせいかわ、見る勇気が無い。しかし気になる。

遠くから見たら、ただ白い物体が奇妙にくねくねと動いているだけだ。少し奇妙だが、それ以上の恐怖感は起こらない。しかし、兄は...。よし、見るしかない。どんな物が兄に恐怖を与えたのか、自分の目で確かめてやる！僕は、落ちてる双眼鏡を取って覗こうとした。

その時、祖父がすごいあせった様子でこっちに走ってきた。僕が『どうしたの？』と尋ねる前に、すごい勢いで祖父が、『あの白い物体を見てはならん！見たのか！お前、その双眼鏡で見たのか！』と迫ってきた。僕は『いや...まだ...』と少々キョドった感じで答えたら、祖父は『よかった...』と言い、安心した様子でその場に泣き崩れた。僕は、わけのわからないまま、家に戻された。

帰ると、みんな泣いている。僕の事で？いや、違う。よく見ると、兄だけ狂ったように笑いながら、まるであの白い物体のようにくねくね、くねくねと乱舞している。僕は、その兄の姿に、あの白い物体よりもすごい恐怖感を覚えた。

そして家に帰る日、祖母がこう言った。『兄はここに置いといた方が暮らしやすいだろう。あっちだと、狭いし、世間の事を考えたら数日も持たん...うちに置いといて、何年か経ってから、田んぼに放してやるのが一番だ...。』

僕はその言葉を聞き、大声で泣き叫んだ。以前の兄の姿は、もう、無い。また来年実家に行った時に会ったとしても、それはもう兄ではない。何でこんな事に...ついこの前まで仲良く遊んでたのに、何で...僕は必死に涙を拭い、車に乗って、実家を離れた。

祖父たちが手を振ってる中で、変わり果てた兄が、一瞬、僕に手を振ったように見えた。

僕は、遠ざかってゆく中、兄の表情を見ようと、双眼鏡で覗いたら、兄は、確かに泣いていた。

表情は笑っていたが、今まで兄が一度も見せなかったような、最初に最後の悲しい笑顔

だった。

そして、すぐ曲がり角を曲がったときにも
う兄の姿は見えなくなったが、僕は涙を流し
ながらずっと双眼鏡を覗き続けた。『いつか…
元に戻るよね…』そう思って、兄の元の姿を
懐かしみながら、緑が一面に広がる田んぼを
見晴らしていた。そして、兄との思い出を回
想しながら、ただ双眼鏡を覗いていた。

…その時だった。

見てはいけないと分かっている物を、間近
で見てしまったのだ。

『くねくね』

これは「うわごとのとなり」というホームペ
ジに2005年2月27日掲載されているものである。

4 「くねくね」の分類

「くねくね」には、多くの類話がある。掲載日
時が書かれていないので、どの話がどの話から派
生したか不明だが、現在、確認出来る物語をそれ
ぞれ分類してみた。ここでは、伝承されている物
語の言葉を、そのまま抜き出している。その為、
少し違和感や不快感を覚える表現があるかもしれ
ないが、伝承のリアリティーを知っていただき
たいので、そのまま紹介する。

- 1 発言者は僕、体験型、体験者は僕（小さい頃）
・兄・祖父・祖母、場所は秋田、時期はお盆、
くねくねに遭遇した場所は田んぼ、時間は真
昼に差し掛かった頃、妖怪くねくねは人ぐら
いの大きさの白い物体がくねくねと動いてい
る、見た人物は兄で双眼鏡で覗いていた、見
た人物のその後は双眼鏡で見て、「わからな
いほうがいイ…」と言う・兄は白い物体のよ
うにくねくねと乱舞している・祖母が兄はこ
こに置いていて暮らし、何年か経ったら田ん
ぼに放すのが一番だと云った。
- 2 発言者はわたし、伝聞型、体験者は弟の友達
のA君（子供の頃）・お兄さん、場所は田舎、
時期は緑が生い茂っている頃、くねくねに遭
遇した場所は外、妖怪くねくねは真っ白い服
を着た男か女かがくねくねと動く、見た人物
は兄で、見た人物のその後で兄は知的障害に
なった。
- 3 1と同じ。
- 4 発言者は俺、体験型、体験者は小学生が十数
人・引率の先生が男女あわせて4人・俺（小
学4年生）・いとこ（同年代）・Kちゃん（2
つ年上の6年生）、場所は海辺の民宿、時期
は夏季、くねくねに遭遇した場所は海辺、妖
怪くねくねは白いモノが両手を頭の上で高速
で動かしている、見た人物はKちゃん、見た
人物のその後ストレス性のなんとか（脳がど
うとか）になった。
- 5 発言者は俺、体験型、体験者は友達・母・俺
（高校の時）、場所は家、くねくねに遭遇した
場所は田んぼ、妖怪くねくねは母親 見慣れ
ない黒いものがうごめいているのが見えた・
人型の物体がその四肢を狂ったように[くね
くね]と動かしている・俺達 ひたすら手足
を動かす黒いもの見た人物は俺達・母親、見
た人物のその後は母親 逃げてきた・俺と俺
の友人 二人は泣きながら逃げ帰った。
- 6 発言者は俺、体験型、体験者は同じ班だった
奴・俺（小学生の頃）、場所はどこかの石切
り場、くねくねに遭遇した場所はどこかの石
切り場、妖怪くねくねは白い人影が踊ってい
た、見た人物は同じ班だった奴、見た人物の
その後は泡吹いてまた気絶。
- 7 発言者は私、体験型、体験者は私・青年・お
じさん、場所は家、くねくねに遭遇した場所
はベランダ、時間は早朝、妖怪くねくねは汗
をかかない・呼吸をしない・足音がしない・
両手首がキラキラと光っている・彼は体を奇
妙にクネクネと曲げる見た人物は私、見た人
物のその後、くねくねを見ようとしていない
ので不明。
- 8 発言者は私、体験型、体験者は私（小学生）・
親戚一家（子供、母親、父親、祖父）、場所
は秋田の能代、くねくねにそうぐうした場所
は沼、妖怪くねくねは見てはいけけないもの、
見た人物は親戚の母親、見た人物のその後、
現在の様子は分からない。
- 9 発言者は私、伝聞型、体験者は弟の友達
のA君（子供の頃）・お兄さん、場所は田舎、時
期は緑が生い茂っている頃、くねくねに遭遇
した場所は外、妖怪くねくねは真っ白い服を

- 着た男か女が分からない・くねくねと動く、見た人物は兄、見た人物のその後知的障害になった。
- 10 2と同じ。
- 11 1と同じ。
- 12 5と同じ。
- 13 4と同じ。
- 14 発言者は私，体験型，体験者はおばあちゃん・おじいちゃん・私・おかあさん・おとうさん・姉2人，場所はT木，時期は青々とした田んぼ，くねくねに遭遇した場所は田んぼ，妖怪くねくねは白い魔物，見た人物はおばあちゃん，見た人物はその後心臓発作で亡くなった。
- 15 発言者は私，体験型，体験者は私（小学校4年生）・幼なじみ（3歳下）・祖母・人（作業小屋から飛び出した），場所は家，時期は夏，くねくねに遭遇した場所は田んぼ，妖怪くねくねは黒色・ペラペラの人間の影，見た人物は幼なじみ，見た人物のその後私 正気をなくした。幼なじみ ゆらりゆらりと動いていた。
- 16 発言者は私，体験型，体験者は私・友人，場所は 阪府T槻市のぼんぼん山，時期は1996年6月と2000年12月，くねくねに遭遇した場所は田んぼ，妖怪くねくねは両手をだらんと下げてこっちを見た，見た人物は私と友人，見た人物のその後は逃げ出した。
- 17 発言者は俺，体験型，体験者はおばあちゃん・おじさん・俺，場所は田舎，くねくねに遭遇した場所は畑，妖怪くねくねはくねくねしていた，見た人物は俺，見た人物のその後はおばあちゃんに目を塞がれて怒られた。
- 18 4と同じ。
- 19 発言者は俺，伝聞型，体験者は兄弟，くねくねに遭遇した場所は畑，くねくねは白くてくねくねと体を動かしている，見た人物は兄，見た人物はその後気が狂ってしまった。
- 20 発言者は不明，伝聞型，体験者は兄・おじいちゃん，場所は秋田の男鹿，くねくねに遭遇した場所は畑，くねくねは畑で踊ってた，見た人物は兄，見た人物のその後兄は発狂・ほとぼりが冷めたら畑に放す。
- 21 1と同じ。
- 22 発言者は私，伝聞型，体験者は息子と父，場所は田舎，くねくねに遭遇した場所は外，妖怪くねくねは白い服を着た女か男かわからないのがありえない方向にくねくねしている，見た人物は父と息子，見た人物はその後知的障害になった。
- 23 1と同じ。
- 24 発言者は羽衣（人名），伝聞型，体験者は弟・弟の知り合いのA君・祖父，場所は田舎，くねくねに遭遇した場所は田んぼ，妖怪くねくねは真っ白な人で男か女が分からずくねくねと体を動かしている，見た人物は兄，見た人物のその後兄は知的障害になった。
- 25 2と同じ。
- 26 1と同じ。
- 27 5と同じ。
- 28 4と同じ。
- 29 発言者は俺，体験型，体験者は両親・俺，場所は東北，くねくねに遭遇した場所は海，妖怪くねくねは波の上でくねくねしている白いもの，見た人物は俺，見た人物のその後戻るといなくなっていた。
- 30 6と同じ。
- 31 発言者は不明，体験型，体験者はマイクロトフ・カミュ，場所は田圃，時期は夏，くねくねに遭遇した場所は田圃，妖怪くねくねは黒くてくやくやくしたものがうごめいている，見た人物はマイクロトフが双眼鏡で見た，見た人物のその後床に座ってなにやらぶつぶつ呟いて居た。
- 32 6と同じ。
- 33 発言者は不明，体験型，体験者は発言者，場所は山，時期は夏休み，くねくねに遭遇した場所は畑，時間は昼下がり，妖怪くねくねは背筋を伸ばした姿勢と前かがみの姿勢を凄く速さで同じ場所で繰り返している，見た人物は体験者，見た人物のその後気味が悪くなったので見るのをやめた。
- 34 発言者は俺，体験型，体験者は俺・仲間，場所は長野，くねくねに遭遇した場所は水辺，時間は夜中の3時頃，妖怪くねくねは白くて人型の影みたいなのが躍っているもの，見た人物は俺，見た人物のその後幻覚だと思って

- いた。
- 35 発言者は不明，体験型，体験者はそうでもなかった子・発言者，場所は保育園，くねくねに遭遇した場所は保育園の散歩中，妖怪くねくねは白いおばけ，見た人物はそうでもなかった子，見た人物のその後小学校に行っても特別教室に行くぐらいおかしくなった・去年自殺した。
- 36 発言者はわたし，体験型，体験者はわたし・弟・弟の友達の女の子・おじいさん，場所は田んぼのあぜ道，時期は夏頃，くねくねに遭遇した場所は田んぼのあぜ道，妖怪くねくねは白っぽい陽炎のようなものでグネグネと動いている，見た人物は弟の友達の女の子，見た人物のその後嘔吐し始めた・その後酷い高熱を出し，軽度の失語症になった。
- 37 発言者は私，体験型，体験者は僕・友達・先生・母，場所は学校のプール，時期は夏休み，くねくねに遭遇した場所は池，妖怪くねくねは半透明ビニール袋っぽいものがふよふよと動いていた・くねくねと動いていた，見た人物は友達，見た人物のその後うつぶせになって浮いていた。失神していた・寝ないですつと変な動きで踊っていて精神病院にいる・退院した途端交通事故で帰らぬ人になった。
- 38 発言者は不明，伝聞型，体験者は仙台発朝一番の特急ひばり2号，くねくねに遭遇した場所は福島県の白河駅をすぎて栃木県との境辺りにはいったとき，妖怪くねくねは白い紙のようなものがくねくね動いていた，見た人物はおじいさんが望遠鏡で見た，見た人物のその後くねくねと同じ動きをしていた。
- 39 発言者は私，体験型，体験者は私，場所は福島県中通り中央の外れ，時期は春，くねくねに遭遇した場所は遠くの方，妖怪くねくねはヒトデが激しく踊っているような，そんな感じの動き方，見た人物は知的障害者の男性，見た人物のその後くねくねを見て，表情が変わり，虚ろだった視線が，はっきりとその白いもののほうを見据えている。
- 40 1と同じ。
- 41 発言者は俺，体験型，体験者は友人・友人の友達・友達の兄・父，場所は田んぼ，くねくねに遭遇した場所は田んぼ，時間はお昼ご飯，妖怪くねくねは関節が曲がってはいけない方向に曲がったり跳ねたり動いた，見た人物は友達の兄，見た人物のその後それ以来兄と友達は遊ばせてもらえなくなった・障害者になった。
- 42 発言者は私，体験型，体験者は私・お爺さん・Y（兄）・妹，場所は青森県，時期は8月，くねくねに遭遇した場所は田んぼ，時間は暮れてきて空は綺麗な茜色，妖怪くねくねは白い物体・人間なら曲がるはずの無い部分までグネグネと動かしている，見た人物は兄，見た人物のその後山のふもとで倒れていた・その時の事は一切覚えていない。
- 43 発言者は俺，伝聞型，体験者は姉・女の子・旦那（女の子の），くねくねに遭遇した場所姉は道・女の子は風呂場，妖怪くねくねは姉の口の中に入って，水で体が膨れ死亡・女の子の口の中に入ってくねくねになる，見た人物は姉・女の子，見た人物のその後姉・死亡・女の子・くねくねになる。
- 44 6と同じ。
- 45 33と同じ。
- 46 38と同じ。
- 47 37と同じ。
- 48 発言者は私，体験型，体験者は私・爺ちゃんか叔父さん，場所は農道，時期は夏，くねくねに遭遇した場所は農道，妖怪くねくねは影が無く陰影を無視したような白い体が不気味だった，見た人物は私，望遠機能があり，ティッシュの箱のような長方形のもので見た，見た人物のその後後頭部あたりが痛くなってくる・集中力が無くなり，ミスタッチが多くなる。
- 49 発言者は俺，伝聞型，体験者は親父さん・爺さん，場所は海，くねくねに遭遇した場所は海，妖怪くねくねは海の上で人型が歩いていた，見た人物は親父さん，見た人物のその後爺さんに怒鳴られた拳ぶん殴られた・親父は今でも健在。
- 50 発言者は俺，体験型，体験者は俺，場所は田舎，くねくねに遭遇した場所は小さな駐車場，時間は夜の10：30分頃，妖怪くねくねは異様なくらいクネクネと蠢いる。

5 「くねくね」の特徴

「くねくね」の特徴として、今までの妖怪の定義に当てはまらない。まず、妖怪とは日本国語大辞典では『人の人知では理解できないフシギな現象や、ばけもの。(形動)あやしい感じのすること。わざわざを招きそうな不吉なさま。わざわざと危険』とある。そして、妖怪の定義として柳田國男の妖怪談義には『誰にも気のつくようなかなか明瞭な差別が、オバケと幽霊との間にはあったのである。第一に前者は、出現する場所がたいていは定まっていた。避けてそのあたりを通らぬことにすれば、一生出くわさずにすまずこともできたのである』とある。これは、妖怪は場所に、幽霊は人に憑くという事を表している。

これらの事から、くねくねの特徴として、次の三点を上げることが出来る。現象(音)、存在(名前)、図像(絵画)の順番では無いし、当てはまらない。妖怪の定義に当てはまらない。体験談が多い。

は、例えば小豆洗いという妖怪を見てみよう。この妖怪は最初から、今私たちの知る形で存在していた訳ではない。最初は、小豆を洗うような「音」(現象)を人々が認識した。そして、語られていくうちに、この音は「小豆洗い」という超自然的存在としての妖怪が出す音と認識されようになる。つまりラベル化である。それが、江戸時代に入ると、妖怪画が流行し、小豆洗いも造形化されるのである。このように、現在の私たちが知る妖怪が成立するまでには、音、ラベル化、造形化という順番があるのだ。しかし、くねくねの場合、現象(音)がない。くねくねに遭遇した時は、「くねくねの方を見た」という割合が多いのである。これは現象(音)が聴覚に頼っているものに対し、くねくねは「見た」という事から視覚に依存していることがわかる。そして、くねくねという名前も「くねくねとした動き」という事から、これも視覚に基づいていることがわかる。

は、くねくねの物語をもう一度見てもらえば良いが、くねくねは田んぼや海などに出現する。これは妖怪の定義に当てはまっている。しかし、くねくねを見た人物がその後病気や最悪の場合は死に至る事がある。これは幽霊の定義に当ては

まっている。そこから、くねくねは妖怪の定義だけでなく、妖怪と幽霊の定義に当てはまっていると思われる。

について口承文芸は「あの家の美しい女が...」という風に体験型では無く、伝聞型が多いが、くねくねの場合体験型が多い。ただ、インターネットでは誰でも自由に発言出来るかわりに、匿名性があり、名前・性別・出身地など偽る事が出来るので、本当に体験したかどうかは判断がつかないのである。

6 まとめ

かつて妖怪が成立するために、必要とされた3つのレベル、つまり現象(音)・存在(ラベル化)・図像(造形化)は、現在の妖怪においては、少し形を変えているのではないかと思う。インターネットの特徴から見ても、今後、音という現象は消えていくのではないか。それは、インターネットは音を聞くものではなく(一部動画サイトなどもあるが)、文字を読み取るものの方が多く存在するからである。現在の生活といえば、テレビや音楽プレイヤーなど人工的な物の音を聞く事に執着し、自然の音を聞く機会が減ってきている。そのことが、かつての妖怪の存在を揺るがしているのではないか。昔の生活では、当たり前だった山や川や動物達の声や音を聞く機会が減ってきた為に、現代の妖怪の形成に、音としての現象は必要無くなっていったのではないかと思う。図像については、ブログなどの普及で誰でも簡単に描けて掲載出来るようになったが、くねくねについては数があまりない。これは、怪談や恐怖を文字だけで表現しようとしているのではないかと思われる。

妖怪と人々との関係は、江戸時代から少しずつ変化してきた。以前は人間の五感を駆使し、妖怪を創造、認識し、娯楽として生活の中で楽しんでいった。しかし、現在の妖怪と人々との関係は希薄になりつつある。妖怪を創造、認識するものは殆んど文字や視覚だけになってしまった。人間の五感を駆使せず、妖怪との関係も希薄になっていくさまは、現代人の人間関係に何か似ている。今後、人と人との関係が濃密になれば、昔のような妖怪の存在が増えるのではないか。

参考文献

鶴的妖怪は以外に都市伝説でもあった そろそろ
くねくね

<http://www5d.biglobe.ne.jp/DD2/Rumor/kunekune.htm>

日本大辞典刊行会『日本国土地辞典』（第1版第
11刷），小学館，昭和62年

柳田國男『妖怪談義』，講談社，昭和57年
分類中の参考文献

1 鶴的妖怪は意外に都市伝説的でもあった そろそろくねくね

<http://www5d.biglobe.ne.jp/DD2/Rumor/kunekune.htm>

2 くねくね

この小説（実話？）は2chからの転載で一部編集（改行や誤字など簡単な修正）して公開しています。第1話

http://www.geocities.jp/thp_jp/hora.html

3 くねくね

この小説（実話？）は2chからの転載で一部編集（改行や誤字など簡単な修正）して公開しています。第2話

http://www.geocities.jp/thp_jp/hora.html

4 くねくね

この小説（実話？）は2chからの転載で一部編集（改行や誤字などの簡単な修正）して公開しています。第3話

http://www.geocities.jp/thp_jp/hora.html

5 くねくね

この小説（実話？）は2chからの転載で一部編集（改行や誤字など簡単な修正）して公開しています。第4話

http://www.geocities.jp/thp_jp/hora.html

6 くねくね

この小説（実話？）は2chからの転載で一部編集（改行や誤字など簡単な修正）して公開しています。第5話

http://www.geocities.jp/thp_jp/hora.html

7 くねくね

この小説（実話？）は2chからの転載で一部編集（改行や誤字など簡単な修正）して公開しています。第6話

http://www.geocities.jp/thp_jp/hora.html

8 くねくね

この小説（実話？）は2chからの転載で一部編集（改行や誤字など簡単な修正）して公開しています。第7話

http://www.geocities.jp/thp_jp/hora.html

9 くねくね

<http://awdj.b.to/kyoufu/40>

10 くねくね

皆さんも「くねくね」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くても、これからの文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。そんな近くて不思議な話です。その1

http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html

11 くねくね

皆さんも「クネクネ」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くても、これからの文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。そんな近くて不思議な話です。その2

http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html

12 クネクネ

皆さんは「くねくね」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くとも、これからの文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。そんな近くて不思議な話です。その3

http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html

13 クネクネ

皆さんは「くねくね」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くとも、これからの文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。そんな近くて不思議な話です。その4

http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html

14 クネクネ

皆さんは「くねくね」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くとも、これから

- の文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。 そんな近くて不思議な話です。 その5
http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html
- 15 クネクネ
 皆さんは「くねくね」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くとも、これからの文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。 そんな近くて不思議な話です。 その6
http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html
- 16 クネクネ
 皆さんは「くねくね」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くとも、これからの文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。 そんな近くて不思議な話です。 その7
http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html
- 17 クネクネ
 皆さんは「くねくね」を見た事があるだろうか？ 名前は聞いた事が無くとも、これからの文章を読んで 思い出す事があるかも知れない。 そんな近くて不思議な話です。 その8
http://www1.vecceed.ne.jp/ognis/kunekune_1.html
- 18 8 「くねくね」について
 2・3・4・5
<http://academy4.2ch.net/test/read.cgi/min/1058172724/>
- 19 「くねくね」について
 24
<http://academy4.2ch.net/test/read.cgi/min/1058172724/>
- 20 「くねくね」について
 119
<http://academy4.2ch.net/test/read.cgi/min/1058172724/>
- 21 「くねくね」について
 121・122・123・124
<http://academy4.2ch.net/test/read.cgi/min/1058172724/>
- 22 ばけばけ妖怪掲示板
<http://www.bakebake.com/yokaibbs/index.cgi?mode=topicview&topic=260>
- 23 くねくね 759・761・762・763・764
<http://i-space.tv/yunyun/4/KUNE.htm>
- 24 農道にて
<http://www8.ocn.ne.jp/shunpage/kunekune.htm>
- 25 3 くねくねの話 212
<http://www2.ocn.ne.jp/t89mo/sf/kunekune.html>
- 26 3 くねくねの話 756・759・761・762・763・764
<http://www2.ocn.ne.jp/t89mo/sf/kunekune.html>
- 27 3 くねくねの話 255
<http://www2.ocn.ne.jp/t89mo/sf/kunekune.html>
- 28 3 くねくねの話 18・19・20・21
<http://www2.ocn.ne.jp/t89mo/sf/kunekune.html>
- 29 3 くねくねの話 274
<http://www2.ocn.ne.jp/t89mo/sf/kunekune.html>
- 30 3 くねくねの話 851・853
<http://www2.ocn.ne.jp/t89mo/sf/kunekune.html>
- 31 くねくね
<http://www6.ocn.ne.jp/camus/dia/50.9.htm>
- 32 File No.004 くねくね 03/07/04 21:41
http://www6.plala.or.jp/ohzora-soul/md/text/004_03.html
- 33 File No.004 くねくね 03/07/10 17:15
http://www6.plala.or.jp/ohzora-soul/md/text/004_03.html
- 34 File No.004 くねくね 05/01/12 21:38:31
http://www6.plala.or.jp/ohzora-soul/md/text/004_03.html
- 35 File No.004 くねくね 05/02/04 09:26:34
http://www6.plala.or.jp/ohzora-soul/md/text/004_03.html
- 36 File No.004 くねくね 05/02/04 15:43:43
http://www6.plala.or.jp/ohzora-soul/md/text/004_03.html
- 37 File No.004 くねくね 05/02/09 22:38
http://www6.plala.or.jp/ohzora-soul/md/text/004_03.html
- 38 File No.004 くねくね 2005/06/30(木) 18:

